

図書集会、大成功！

わらどん

平成28年2月8日

発行責任者
早川北小学校
校長 一瀬純司

図書・園芸委員会だけでなく 全員が発表してがんばりました

十二月十日、図書園芸委員会主催の図書集会有りまして。始めは、読書感想文入選者の感想文発表がありました。次に、心温まるお話し「おじいさんのコート」

を、図書・園芸委員がとも工夫して発表しました。次に、司書の河上先生が「ざ・奈良田」というテーマで、奈良田の歴史を話したあと、赤組・白組に分かれて奈良田の方言について



のゲームをしました。そして最後に、全員がおすすり本の紹介をしました。子どもたちは、真剣に話を聞いて、ゲームしながら笑ったり、とても楽しい図書集会でした。(早川北小フェイスブックより)



十二月十五日、長年、早川町の保育所と小学校に、ご自分が育てたおいしいミカンをお届けしてくださっている、静岡県古川さんご夫妻が来校しました。古川さんはいつも児童に優しい満面の笑顔を向けながら、

「小さいミカンと大きいミカンを持ってきました。食べ比べてみてください。小さい方は甘くて、大きい方はさっぱりしている、みんながっ

今年もおいしいミカンをいただきました

毎年、静岡の古川さんが届けてくださいます

てみんないいですね。」と、金子みすずさんの詩にちなんでお話をしてくださいませ。

今年は、子どもたちのお礼の寄せ書きをお渡ししてきました、その場で撮った写真もお渡しすることができました。

年末にあたり、心温まる交流ができて、本当にありがたいです。いただいたミカンは大きいミカンと小さいミカンをあわせて、子どもたちに家に持ち帰ってもらいました。



予告なしの避難訓練 繰り返しが大切

昨年度に引き続き、今年度も予告なしの避難訓練を行っています。一学期の地震避難訓練の時、一回目は地震発生のお知らせ後に、わざわざ一階から階段を駆け上がって二階の自分の机の下にもぐる児童や、避難命令がないと動けない児童がかなりいましたが、二回目はずいぶんよくなりました。しかし、十二月二日に火災避難訓



練をしたところ、火災発生放送と同時に地震用のダンゴムシポーズ(身を隠すものがない場所で頭を抱えてうすくまるポーズ)をとる児童や、避難命令がないと動き出せない児童などがいました。

設定を変えると動きを間違えたり、なかなか自分の判断で動けなかったりします。

訓練放送直後に担任が指示を出し、クラスごとに整然と避難していた訓練が東日本大震災以後見直され、「自分の安全は自分で考えて行動して守るもの」という教育が広がってきています。予告なしの避難訓練を今後も繰り返して、自分の身を自分で守ることの大切さを浸透させていきたいです。

